

# モータースポーツ活動

レースやラリーなどの幅広いモータースポーツに参戦するYOKOHAMA。国内外でコンペティションタイヤ（競技用タイヤ）の供給を行い、各カテゴリーにおいて華々しい戦績と優れた成果を上げています。

例えば、SUPER GT GT500ではトヨタと日産の2台体制、ニュルブルクリンク24時間レースではBMWカスタマーチームWalkenhorst Motorsportと参戦、また、オフロードレースでは北米やアジアのシリーズ戦に参戦し、「ADVAN」「GEOLANDAR」ブランドの強化を図っています。

こうした活動は、高性能市販タイヤの開発や未来のタイヤに向けた技術開発という大きな役割を担っています。まさにモータースポーツは、タイヤ開発における壮大な実験場なのです。



## モータースポーツ活動を通じたサーキュラーエコノミーへの取り組み

### 全日本スーパーフォーミュラ選手権向け、サステナブル素材を活用したレーシングタイヤを開発

当社が2016年からコントロールタイヤサプライヤーを務めている全日本スーパーフォーミュラ選手権。その2023年大会に向けて、サステナブル素材を使ったレーシングタイヤの開発を進めています。今回新たに開発するタイヤは、米の籾殻から生成したシリカ、アブラヤシの実やオレンジの皮から生成したオイルなどの自然由来の配合剤を活用するとともに、廃タイヤから再生したゴムなども再利用します。2025年までにサステナブル素材の比率を35%以上にすることを目指しています。



開発中のサステナブル素材の比率を向上したレーシングタイヤ

### 米国のヒルクライムレースにサステナブル仕様のタイヤを投入

2022年6月に米国で開催された「第100回バイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」に向け、サステナブル素材を使用したストリートスポーツタイヤ「ADVAN A052」を投入しました。このタイヤは、走行時に最も変形が大きくなるサイドウォールのゴムを、従来の石油由来のブタジエンゴムからバイオマス由来のブタジエンゴムに変更したものです。今後も過酷なヒルクライムレースでの実戦を通じて、環境負荷を低減する技術開発を加速させていきます。



サステナブル素材を採用した「ADVAN A052」を装着し参戦したEV バイオマス由来のブタジエンゴム素材